

## 「早春を告げる花」

七宝の町の花「スイセン」

七宝町は江戸時代末期から七宝焼の産地として栄える名古屋市近郊の住宅地七宝の町の花がスイセン小切戸川堤には

ニキロにわたりスイセンが早春を告げて咲き誇るマンホールのフタや街路灯の形にもスイセンが採用七宝北中学校の敷地のそこここに

このラップスイセンが咲き誇る

このラップスイセンの花言葉は

「尊敬」「心づかい」

生徒が昇降口を出た所に七宝地区の方が寄贈した誠実の像がある

このスイセンの花言葉も誠実の像も

新しい時代を見つめ人を敬い

誠実に育って欲しいという願いがあるのだろうか



## 七宝町の花 あま市の花 あま市の木

「偽れない気持ちの大切さ」  
あま市の花「ゆり」

ゆりの花言葉は

「純粹」「無垢」

「飾らぬ美」

世界の国でゆりは咲く

日本固有のゆりは十五種

そのゆりの花言葉は

「あなたには偽れない」

人は人と生きている

すべてと共に生きている

その私たちが

共に生きるものすべてに

純粹に共に生きていく

そんな気持ち

日本には古くからあった

食事の挨拶「いただきます」

もその一つ

あなたの命を

いただくことで

生かさせていただける

そのことに感謝

はでさこそないが

奥ゆかしいお国柄は

日本のいいところ

こんな言葉にあらわれる

共に純粹な気持ちで

あなたと偽らず生きていく



## 「平和を願う」

あま市の木「ハナミズキ」

ハナミズキの花言葉は

「公平」「永続」

「私の思いを受けて下さい」

百年前の話

東京市長の尾崎行雄氏が

ワシントンに桜を寄贈

その返礼に贈られたのが

ハナミズキ

アメリカでは桜を

日本ではハナミズキを

美しいものをめでて

心を互いに和ませた

アメリカにとつて

九月十一日は忘れられない日

歌手の「青筋の名曲

「ハナミズキ」は

この日に亡くなった

友人のことを思い

平和を願う

果てなき波がちゃんと止まりますように

君と好きな人が百年続きますように

あま市がこの木を選んだのは  
百年も永続して続く  
平和を願って

